

カリキュラム改革

幼児期から義務教育修了までに、基本的な道徳心・規範意識を培います

社会で生きるうえで身に付けておかなければならない普遍的な事柄について明確化して繰り返し指導します。

新たな幼児教育カリキュラムを編成・実施します

幼稚園と保育所の合同で、規範意識と知・徳・体をバランスよくはぐくむことを重視した幼児教育カリキュラムを研究・開発します。

ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす 「大阪市スタンダードモデル」を策定します

モデル校において、タブレットPC、電子黒板、デジタル教科書など、最先端のICT学習環境を整備し、ICTを活用した授業づくりの実証研究を行います。その成果をふまえ、「大阪市スタンダードモデル」を策定し、27年度には全市展開します。

児童生徒が最先端のICT環境の中で学習します



カリキュラムのイノベーションにつながる研究を進めます

・習熟度別授業の実施

小学校3～6年、中学校1～3年で、習熟の程度に応じた少人数授業を実施し、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる学習を通して、学力向上を図ります。あわせて、中学校のモデル校では、国語・数学・英語・理科で年間を通じた習熟度別授業を実施し、効果を検証します。



<数学の授業風景>
習熟度別少人数授業等により、ていねいに一人ひとりの学力を伸ばす指導を進めます

・言語力や論理的思考能力の育成

言語力等の育成を図るためのモデル校を設置し、効果の検証を行います。

・小学校1年生から6年間を見通した理科教育の充実

系統的な生活科・理科の教育内容を検討しモデルカリキュラムを策定します。

・小中一貫した教育の推進

施設一体型小中一貫校では、小学校高学年における教科担任制の導入を含め、特色ある教育を実施します。また、実践事例を紹介するなど、取組の成果を他校にも情報発信します。

・教育活動のための時間の確保

授業時間を確保するとともに開かれた教育活動を進めるため、夏休み・冬休みを短縮するとともに、土曜授業を実施します。



平成24年度、大阪市初の施設一体型小中一貫校「あなたか小中一貫校」(愛称を開校しました)

通知表改革：学びの評価を客観的なものにします

知識・理解や思考・判断等に関する評定と関心・意欲・態度の評価を区分して通知表の標準例を作成します。なお、知識・理解や技能・能力の到達度の評定については、到達度テストなど客観的データを活用します。

健全な食生活の確立に向けて食育を進めます

中学生の望ましい食生活・食習慣の形成に向け、弁当箱によるデリバリー方式の中学校給食を段階的に実施します。



<中学校給食 教室での食事の様子>
平成25年9月から市内全中学校(128校)で実施する予定です